



情報処理センター通信



◆情報処理センターからのお知らせ

●平成29年度卒業生・修了生(及び退学者・除籍者)のアカウント削除について

3月で卒業・修了する学生(及び退学・除籍となる学生)が利用していたアカウントは4月以降は廃止となり利用できなくなります(大学院に進学される学生も対象です)。このことに伴い、在学中に作成・保存したデータもアカウントと共に削除されます。削除されたデータは後日復元することはできませんので大切なデータは各自で全てバックアップしておいて下さい。

【アカウント削除の対象】

- ・平成30年3月に卒業(修了)した学生
(学部/研究生→修士、修士→博士など進学する学生もアカウント削除の対象です。進学時に新規にアカウントが発行されます。)
- ・平成30年3月31日時点で大学の籍を失った退学・除籍等の学生

【アカウント削除の手続きの日程】

平成30年4月1日より順次

《この日の前日までに必要なデータは全てバックアップしておいて下さい》

【利用できなくなるもの】

- ・パソコンの学内ネットワーク接続認証
- ・学内に開設しているウェブサイトの利用 (http://www.u-gakugei.ac.jp/~アカウント名/ 以下のファイル)
(http://local.u-gakugei.ac.jp/~アカウント名/ 以下のファイル)
- ・ファイル共有システムの利用
- ・大学が提供しているOfficeProPlusのライセンス・OneDrive
- ・その他情報処理センターシステムの利用、及びシステムにて作成・保存したデータの利用

【大学メールアドレスについて】

- ・卒業生、修了生および満期退学者 … 東京学芸大学卒業生生涯メールアドレスとして卒業後も継続して利用できます。
- ・退学者および除籍者 … 大学メールアドレスは利用できなくなり、メールデータもすべて**削除**されます。

◆ 情報処理センターレポート

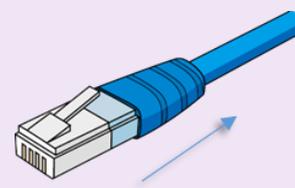
● ウイルスに感染したと思ったら

コンピュータウイルスに感染した疑いがある場合は、安全の為に以下の対処をしましょう。



1. ネットワークから切断します

- ワイヤレススイッチを切ります。又はWi-FiをOFFにします。
- 有線LANを抜きます。



2. ウイルス駆除

- ウイルス対策ソフトでスキャン(検索)を実行します。
- ウイルスが検出されたら、ウイルスに感染した原因となったメールや、ダウンロードしたファイルを削除します。

※ごみ箱からも削除してください。

その後、ウイルス検出結果より対応方法を元にウイルス駆除を行います。

※パソコンを購入時の初期状態に戻すしかないこともあるので、**大切なデータは、こまめに他のメディア(USBメモリや外付けHDDなど)へバックアップしておきましょう。**

安全が確認されない限り、大学のネットワークへは絶対に接続しないでください。

ウイルス駆除に不安がある方は下記までご相談ください。

学生→N棟1階インフォメーションホール内カウンタ

教員→情報処理センター事務室

事務職員→情報基盤課事務情報係

3. 安全が確認できたら

- ネットワークへの接続をしてウイルスの反応が出ないかチェックして下さい。

ウイルス確認として(定期的に行いましょう)！

例) ウイルスバスターでは、下記の実行。

- ・ウイルスデータの更新。(アップデート)
- ・ウイルススキャンの実行。(検索ボタンを押します。)

前提として！

- × 怪しいサイトにアクセスしない。
- × メールの添付ファイルは、気軽に開かない。



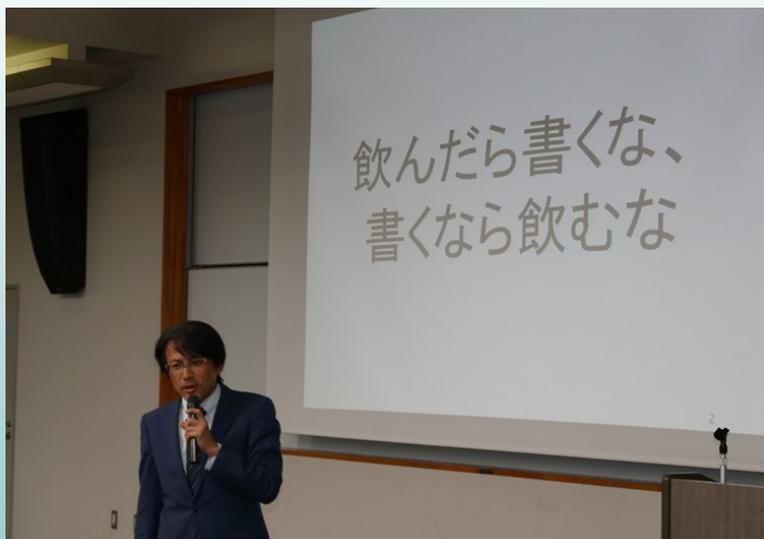
参考 日常における情報セキュリティ対策(IPA)

<https://www.ipa.go.jp/security/measures/everyday.html>

● 情報セキュリティ講演@サークルリーダー研修

2017年12月13日(水)に学生委員会主催のサークルリーダー研修が開催され、情報処理センターの森本康彦教授が「今どきの大学生が知っておきたい情報セキュリティ」と題して講演を行いました。

プロジェクターのスクリーンに「飲んだら書くな、書くなら飲むな」と映し出され講演は始まり、スマートフォンなど携帯型情報機器の普及とともに身近となったSNS(Social Networking Service)を取り上げ、有効性の中にはらむ危険性について解説があり、情報セキュリティへの注意喚起を行いました。



次ページへ続く

特に“教育実習”という舞台を想定し、うっかりすると(気を付けていても勢いで)SNSに書き込んでしまいそうな8つの事例を紹介しました。悪気はない書き込みでも内容によって、ともすると匿名の対象者に対し知らず知らずに“加害者”となる可能性があることなど、“教育実習”にとどまらず日々の生活活動のなかでも留意が必要であることを解説しました。

昨年度に教育実習を行った学生が、自身のフェイスブックに、教育実習において知り得た情報(写真を含む)を掲載していたことが、東京都教育委員会からの連絡によって、判明しました。友だちに限定しての公開でしたが、第三者が知る事態になりました。実習校で知り得た情報をインターネット上に掲載することは、一切行ってはいけないことを強く意識するよう注意喚起しました。

また、新学習指導要領においても「情報モラル」の重要性が述べられており、「情報社会で適正な活動を行う基になる考え方と態度」に関する学習を充実させることが重要視されていることを解説しました。

「SNSへの書き込みは、よく考えて、不必要なことは書き込まないでください。数年後の自分が見て恥ずかしくない投稿を！仲間同士で声(注意)をかけ合おう！」と注意喚起し、慎重にSNSを利用しましょうと呼びかけ、講演を締めくくりました。

【SNSに関する参考文献】

- ・ウィリアム浩幸、“超初心者のためのサーバーセキュリティ入門”、文春新書、2016
- ・国民のための情報セキュリティサイト(総務省)“SNS利用上の注意点”

http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/security/enduser/security02/05.html

編集後記

平成30年の幕開けから早や1ヶ月が過ぎ、漸く「30」という響きに慣れてきました。年々月日が経つのが早いと思うようになり、一日一日を大事に過ごそうと思いつつも…寒くて閉じこもりがちになります。

さて、今回のレポートにあります「ウイルス感染」ですが、感染経路が多様化している中、未だにウイルスメールを開くことによる感染が多く聞かれます。最近では差出人を詐称したのも多く、パッと見気づきにくくなっているかもしれません。かくいう私も、この間迷惑メールフォルダに振り分けられていた楽天からのメールを「振り分けミスかな」と思って受信トレイに戻そうとしたのですが、部下からの指摘で詐欺メールと分かり(文中のリンク先がチョー怪しかった)、事なきを得ました。皆様もお気を付けてください。

史上最大の寒波襲来、東京では20センチもの雪が降りました。大学入試センター試験には影響なかったとはいえ、驚きです。地球温暖化は何処へ行ったのやら。学内に作られた雪だるまの数がハンパなかった。(前)



国立大学法人 東京学芸大学

情報処理センター

□TEL 042-329-7710 □FAX 042-329-7711

□URL <http://www.u-gakugei.ac.jp/~ipcenter/>

□E-mail ipcenter@u-gakugei.ac.jp